

【施設状況】

グループ名称	地域活動支援センターつくし、一体型共同生活介護施設(三津和園)								
指定管理者名	社会福祉法人信濃の星					法人番号	8100005002197		
所管課	主	102000	障害福祉課	副					
構成施設	1420	地域活動支援センターつくし							
	1417	一体型共同生活介護施設「三津和園」							
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	01	代行制
施設概要	【つくし】 作業室2、事務室1、トイレ男・女・身障者用 各1、休憩室1、更衣室1 【三津和園】 管理人室1、事務室兼相談室1、厨房1、食堂1、居室8、浴室1、洗濯場1								
施設設置目的	【つくし】 障害のある人・高齢者の方々が地域において自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、施設において創作活動、生産活動の機会の提供を行うとともに、社会との交流の促進を図ることを目的とする。 【三津和園】 障害者に対し、共同して自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、必要な介護、相談等の日常生活上の支援を行うとともに、短期間の入所に係る支援を行うことにより、障害者等の福祉の増進を図る。								
基本方針等	【つくし】 ・利用者や利用者の家族の意思及び人格を尊重して、常に利用者等の立場に立ったサービスの提供に努める。 ・地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行い、市、障害福祉サービス事業者を行う者、その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者等との連携に努めるとともに、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供していく。 【三津和園】 質の高いサービスを利用者に提供するとともに、利用者の相談や日常生活上の援助及び介護を行いながら、社会人として地域での自立した社会生活を営むことができるよう支援する。								
主な実施事業	【つくし】 ・地域活動支援センター事業(作業訓練・生活訓練・社会体験訓練・相談) 【三津和園】 ・短期入所事業 ・共同生活援助事業								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	社会福祉法人信濃の星			当該指定管理者の 指定回数	4 回
指定期間	令和6年4月1日	～	令和11年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日 平成21年10月1日
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。				評価  3
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)				

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年比	評価
		【つくし】利用者平均人数	人/月	3	3	3	3	100%	3
		【三津和園】共同生活援助	人/月	6	7	7	6	86%	
		【三津和園】短期入所(延べ利用日数)	日	0	27	0	4		
		【三津和園】短期入所(利用者実数)	人	0	1	0	1		
		(特記事項)							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由					
	市指定事業	【つくし】 ・支援法第77条第1項第9号に規定する地域活動支援センターの実施に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務 【三津和園】 ・支援法第5条第8項に規定する短期入所の実施に関する業務 ・支援法第5条第17項に規定する共同生活援助の実施に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務							
	自主事業	【つくし】 ・外出イベント(食事会、お花見) ・スポーツ活動事業(ウォーキング、体操) 自主製品の他施設販売活動 ・社会活動事業(地元施設の清掃活動・地元企業の下請け作業) 【三津和園】 R6年11月に同法人で開催されたお祭り・音楽コンサートに参加。 お楽しみイベント・お楽しみ献立を行い、リクエストメニューの提供。							
サービス維持・向上の取り組み(広報等)		【つくし】 施設紹介(施設認知向上)のため、施設パンフレットを各所へ配布 【三津和園】 ・健康維持管理の為、栄養士監修を導入し、継続している。 ・口腔ケア徹底。 ・利用者の体調観察を日々行うなかで、不良に気づき専門医の通院と送迎を行った。 ・同法人で開催される感染症予防・虐待防止委員会に参加し、職員の研修機会を増やし、サービス向上に努めた。							

3 利用者評価

利用者評価		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り	3
		(2) 調査、会議等の内容	【つくし】 ・常時、利用者や家族からの相談を受け付けている。 ・個別面談を実施している。 ・日々、利用者の体調等を見守り、職員間で共有している。 【三津和園】 ・投書箱を設置し、常時、利用者本人の要望等の把握に努めている。 ・支援会議や定期的にモニタリングを実施。	
(3) 調査、会議等の結果	【つくし】 ・施設利用者一人一人の「フェイスシート」(利用者の履歴等の情報を記載した書類)を作成しており、きめ細かな支援を実施するため、必要な内容は記録して職員間で情報を共有して、利用者ごとに継続的な支援が実施できるようにしている。 ・利用者から希望や要望があれば、行事やイベントに反映させるようにしている。 【三津和園】 ・モニタリング等でニーズを把握し、個別支援計画に反映させ、職員間及び関連施設間において、個別支援プランの情報共有を図っている。			
利用者評価	利用者からの要望・苦情等	(1) 良好とする評価	【つくし】 ・利用者にとって「つくし」への通所は日常的なことであり、習慣化している。 ・作業に参加したくない利用者はいるが、施設への通所を嫌悪している利用者はいない。 ・ゴールデンウィーク等の長期連休期間においても、施設利用者は不満を示さず、平常時同様に清掃等の受託作業を行っている。 ・「つくしがあることがありがたい」との評価が利用者から提示されている。 ・利用者個々の能力を引き出すため、いろいろな作業に挑戦していただいた。結果として利用者の自信を感じることができた。 【三津和園】 ・利用者各人の特性の情報共有や継続的な支援に努めている。 ・年末年始等の長期連休期間も、利用者の家族からの要望により、平常時同様に受け入れを行っている。	
		(2) 苦情・改善等の要望事項	【三津和園】 ①世話人の口調や言動に対して投稿あり ②食に対しての投稿あり(メニュー・量等)	
		「対応措置」	【三津和園】 ①会議を催す。話し合いの場をGHではなく、通所先の授産所で行い話しやすい環境を整えた。 授産所の所長さんも立会いの下話をお聞きし、世話を焼き過ぎる事の過剰支援と職員間のやり取りを利用者に伝わっていた経緯があった。 改めて、職員間での支援の方向性・声掛け支援のあり方をしっかり再確認を行った。	

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和6年度)				市の収支				評価		
	年度計画額		収支実績額		令和6年度決算		令和5年度決算(前年度)				
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額			
収入	利用料金	4,710,000	利用料金	4,459,899	歳入	使用料		使用料			
	指定管理料	9,732,000	指定管理料	9,642,000		雑(納付金)		雑(納付金)			
	委託料	597,000	委託料	597,425		行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料			
	販売収入等	850,000	販売収入等	797,938		貸付料		貸付料			
	その他収入	100,000	その他収入	462		その他		その他			
	障害サービス事業収入	13,940,000	障害サービス事業収入	11,722,822							
			R5年度補填額	456,000							
	計	29,929,000	計	27,676,546		計	0	計	0		
	支出	人件費	18,420,000	人件費		18,080,437	歳出	指定管理料	9,642,000	指定管理料	9,017,000
		設備管理費	348,000	設備管理費		339,500		委託料		委託料	
備品購入費		100,000	備品購入費		需用費			需用費			
修繕費		60,000	修繕費	2,880	役務費			役務費			
光熱水費		2,200,000	光熱水費	2,044,274	使用料・賃借料			使用料・賃借料			
事業費		3,623,000	事業費	3,949,214	修繕費			修繕費			
事務経費		554,000	事務経費	499,537	工事請負費	5,462,600		工事請負費			
本社経費		2,185,000	本社経費	1,768,869	備品購入費			備品購入費			
その他		1,310,000	その他	932,118	その他	11,722,822		その他	11,520,636		
			R5年度補填額	456,000							
計	28,800,000	計	27,616,829	計	27,283,422	計	20,537,636				
自主事業	収入		収入								
	支出		支出								
	自主事業損益	0	自主事業損益	0							
損益		1,129,000		59,717	差引	-27,283,422		-20,537,636			
人件費比率【人件費(賃金等)/令和6年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								65.5%			
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由				本部職員の処遇改善と、求人広告費用が計画よりも増加した。							

5 管理運営全般 ※すべて  で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 【つくし】 所長(兼務) 1人(1)、支援員(常勤)2人(2) ※主に、信更地区・中条地区から勤務している。 【三津和園】 所長(兼務)1人(1)、 統括マネージャー1人(1)、サービス管理責任者(兼務)1人(1)サービス管理責任者、生活支援員(非常勤)6人(6)、世話人(非常勤)5人(5)、宿直4人(1)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか		☑
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		3
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の保健師、相談員や民生委員等と密な連携を図っている。</li> <li>・地元施設の清掃を任せ、利用者と共に定期的実施した。</li> <li>・職員を地元地区または近隣地区から雇用する。</li> </ul> 【三津和園】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接する「地域活動支援センターつくし」をはじめ、地元の保健師、関係機関等と連携し、情報の共有を図っている。</li> <li>・新町授産所の職員と連携し、必要に応じて情報共有を行った。</li> </ul>		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価	
指定管理者の健全性	3	6	合計得点  <b>60</b>	
施設の有効活用	3	6		
利用者評価	3	12		
事業収支	3	6		
管理運営全般	3	12		
危機管理体制	3	12		
地域連携	3	6		

評価理由	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の設置目的を理解し管理運営は適正であった。</li> <li>・定員に対して登録が6名で昨年に引き続き定員割れの状態ではあるが、施設所在地が、信州新町でも山手の中にあり、利用者の増が中々見込めていないが新規登録に向けた活動をしていることが確認できた。</li> </ul> <p>【つくし】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重度障害のある利用者を受け入れパソコン作業により、名刺作成や年賀状の作成づくり、また、信州新町地区の公衆用トイレや特別養護老人ホームからの清掃業務を受託しており、利用者の働きがい、生きがいに結びつけている。</li> </ul> <p>【三津和園】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の場所的に入所する人がいない状況であり、保健師や関係機関へ営業に行っているが厳しい状況である。</li> <li>・利用者から苦情等聞き取りを丁寧に行い、スタッフの不備であったことについてしっかり謝罪をしている。</li> <li>・事業収支は、満床になれば黒字になる状態になるが、定員割れにより赤字になった。</li> </ul>
------	---

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の心身状況を把握しながら、現在取り組んでいる事業内容を確実に継続していく。</li> <li>・地域住民へ本施設の活動内容を広く案内し、関係機関と連携しながら支援が必要な方の利用につなげていく。</li> <li>・併設の共同生活援助や近所の授産所の利用者が高齢になってきているので、本施設への通所をすすめていく。</li> <li>・地域のイベントへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな利用者の受入れのため、近隣地区の保健師等々の情報交換を行っている。</li> <li>・外出イベントや余暇活動に力を入れ、利用者が楽しいと感じ通所していただけるよう工夫をした。</li> <li>・重度障害の方も安心して通所できるような意見・要望を取り入れ、できる範囲で対応した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師等々、情報交換は行っているが土地柄、なかなか利用者の増加が望めない。</li> </ul>

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の心身状況を把握しながら、現在取り組んでいる事業内容を確実に継続していく。</li> <li>・地域住民へ本施設の活動内容を広く案内し、関係機関と連携しながら支援が必要な方の利用につなげていく。</li> <li>・併設の共同生活援助や近所の授産所の利用者が高齢になってきているので、本施設への通所をすすめていく。</li> <li>・地域のイベントへの参加。</li> </ul>
---------------------	--

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

【つくし】

- ・職員配置を専門分野(農業や加工品・清掃・パソコン)で分け、効率よく支援を行えた。
- ・健康面への配慮から、地域の病院等に相談をした。
- ・足腰が弱ってきていることから、週1回約1時間の散歩、体操を習慣づけている。
- ・施設の美化を心掛け、利用者と共に施設内外の整備ができた。
- ・季節を感じられるイベントを心がけ、塗り絵や工作に取り組んだ。
- ・完成した作品を展示することで施設外の方々にも活動を周知できた。
- ・販売活動において利用者が積極的に活動できるよう支援を行えた。

【三津和園】

- ・投書箱を継続し利用者の要望・苦情解決に取り組む。
- ・利用者にとってより良い住環境であるために、モニタリングを定期、不定期に行いニーズに沿った支援の統一ができるよう努めた。
- ・健康維持管理の観点から外部の管理栄養士が作成した食事の導入を継続して行っていき、健康の維持向上に努める。
- ・職員研修の機会を今以上に増やしていく。

② 業務の効率化に対する取組み

【つくし】

- ・職員配置に関して、状況に応じて専門分野で職員、支援員の配置をした。
- ・可能な限り、社用車へ乗合をすることで、移動に要する時間の短縮を図った。
- ・無駄をなくすため、現在ある物をリサイクルすることを心がけた。
- ・職員の勤務形態を見直すことにより、経営効率が上がリ収益が上がった。

【三津和園】

- ・ミーティング等で職員間で統一した支援が行えるよう取り組んでいく。
- ・緊急時に他の事業所職員も対応できるように、三津和の携われる人材を増やしていく。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

【つくし】

- ・利用者の高齢化や能力の差異により、活動内容や作業量の見直しが必要となっている。
- ・利用者の安全健康面から、寒暖の激しい時期の体調管理が必要。
- ・利用者が高齢者や健康面等による問題から、減少傾向にある。
- ・若い世代の利用者に対するサービス提供の内容検討

【三津和園】

- ・高齢の職員が多く、若い人材への移行が課題となっている。
- ・介護保険へ移行する年齢の利用者もでてきており、利用者の移行と新規受け入れをスムーズに行えるように情報発信・収集が必要となっている。
- ・全体的に施設の老朽化が進んでいる。現在、食堂のクーラーが故障しており、台所のクーラーから出る冷たい風を、扇風機で無理やり流している状況にある。
- ・風呂場がバリアフリーになっておらず、車いすの方の入居の募集ができない
- ・市街地にあるグループホームでは、入居者が多くのサービス(障害福祉サービス・介護保険サービスなど)の中から日中活動先を選択するのに比べ、当施設では選択肢が限られてしまう状況である。入居者が他のグループホームの利用者と平等に生活するためにも、移転を希望する。

(3) 総合評価 評価基準  
 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり  
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者  
自己総合評価

C

① 評価理由

事業収支における赤字決済は職員の勤務形態の見直しや経費の削減により改善されたが、利用者の増員を図ることができなかった。事業は計画通りに、効率よく行うことができた。

② 次年度以降の取組み

【つくし】

- ・季節を問わず、利用者が取り組めて楽しめる事業内容の模索。
- ・利用者の高齢化に伴い体力の低下等を踏まえた活動内容や時間の支援。
- ・利用者の体調管理を更に充実する。
- ・利用者の新規受け入れを促進する。近隣の保健師さん等との協力関係を更に密に行う。
- ・利用者の個別支援計画を明確にし、計画及び見直しを行う。

【三津和園】

- ・余暇活動の充実
- ・三津和園を知って頂くためにPRを行っていく
- ・職員の研修を行いサービス向上を目指す